

平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 アベルコ
 コード番号 7539 URL <http://www.avelco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼管理部
 長、経理部長 (氏名) 永澤正博
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

市場取引所 JQ

TEL 03-3853-3391

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	10,750	—	△152	—	△128	—	△121	—
20年9月期第1四半期	10,563	3.8	29	△79.7	60	△64.1	21	△74.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年9月期第1四半期	△11.44		—	
20年9月期第1四半期	1.98		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
21年9月期第1四半期	25,497		12,608		49.5	1,186.81		
20年9月期	24,475		12,834		52.4	1,208.01		

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 12,608百万円 20年9月期 12,834百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	25,900	△4.9	250	△56.9	290	△54.8	150	△56.2	14.12	
通期	49,200	△3.2	390	6.2	480	△0.1	250	37.2	23.53	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 10,704,960株 20年9月期 10,704,960株
 ② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 80,868株 20年9月期 80,744株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 10,624,121株 20年9月期第1四半期 10,624,553株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱が国内経済全体に波及し、国内景気の先行きが不透明な状態となり急速に後退感が増してまいりました。

不動産市場におきましては、マンション、戸建住宅などの販売低迷により過大な負債を抱えた新興・中堅不動産会社の資金繰り破綻等による倒産が続いております。また、消費者の将来への不安感による買い控え傾向が一段と顕著になってきており、市場の縮小及びそれに伴う販売競争の激化による厳しい受注環境が続いております。

このような状況のなか当社グループは、戸建住宅市場については商品調達力と工事施工能力により戸建住宅市場でのシェアアップを図るとともに、施工力の均一化、技術力の向上に注力いたしました。次に大型物件事業については、年度を通じた受注の平準化と原価及び工程管理を厳密に行うことにより、工事の品質と利益率の向上に注力いたしました。

その結果、第1四半期連結累計期間における売上高は107億50百万円となりました。損益面につきましては、効率性を重視した経営を推進するとともに、与信管理の充実に留意いたしましたが、貸倒費用の増加などにより、営業損失1億52百万円、経常損失1億28百万円、四半期純損失1億21百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<大型物件事業>

売上高13億60百万円、営業損失43百万円となりました。なお、売上高は第2四半期（1月～3月）及び第4四半期（7月～9月）に集中する傾向になっております。一方、販売費及び一般管理費は年間を通じて平準しており、このため第1四半期（10月～12月）及び第3四半期（4月～6月）において営業利益が低下する傾向があります。

<戸建住宅事業>

新設住宅着工戸数の低迷による売上高の減少と中小建築業者の破綻等による貸倒費用の増加などにより、売上高94億24百万円、営業利益1億32百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は254億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億21百万円増加となりました。これは主として、未成工事支出金が18億77百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は128億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億47百万円増加となりました。これは主として、未成工事受入金が11億85百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は126億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少となりました。これは主として、利益剰余金が2億6百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少し、25億22百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、84百万円となりました。これは主に、売上債権の減少及びたな卸資産の増加、仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億17百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億51百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月20日に発表いたしました連結業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,330	2,707,111
受取手形・完成工事未収入金等	11,262,874	11,931,103
未成工事支出金	5,308,897	3,431,886
その他のたな卸資産	544,557	509,824
繰延税金資産	258,740	248,954
その他	291,310	363,801
貸倒引当金	△221,940	△195,721
流動資産合計	19,966,769	18,996,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,059,093	1,064,026
機械装置及び運搬具（純額）	9,906	5,848
土地	3,083,887	3,008,343
建設仮勘定	294	253
その他（純額）	108,407	102,363
有形固定資産合計	4,261,589	4,180,835
無形固定資産		
のれん	62,628	67,338
その他	106,687	108,523
無形固定資産合計	169,315	175,861
投資その他の資産		
投資有価証券	173,193	194,081
長期貸付金	32,650	33,430
繰延税金資産	197,534	188,600
その他	1,253,900	1,182,914
貸倒引当金	△557,259	△476,898
投資その他の資産合計	1,100,020	1,122,129
固定資産合計	5,530,925	5,478,825
資産合計	25,497,694	24,475,786

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,432,133	5,912,995
ファクタリング未払金	3,736,969	2,978,808
短期借入金	100,000	166,670
未払法人税等	15,520	105,189
未成工事受入金	2,459,913	1,274,475
完成工事補償引当金	27,407	26,416
工事損失引当金	18,474	11,062
その他	551,885	582,929
流動負債合計	12,342,304	11,058,547
固定負債		
退職給付引当金	55,126	54,377
役員退職慰労引当金	3,000	7,842
役員退職慰労未払金	50,930	68,855
その他	437,528	452,021
固定負債合計	546,585	583,095
負債合計	12,888,889	11,641,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	848,934	848,934
利益剰余金	10,895,899	11,102,385
自己株式	△32,815	△32,783
株主資本合計	12,608,367	12,814,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	437	19,257
評価・換算差額等合計	437	19,257
純資産合計	12,608,805	12,834,143
負債純資産合計	25,497,694	24,475,786

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,750,433
売上原価	9,539,788
売上総利益	1,210,644
販売費及び一般管理費	1,363,639
営業損失(△)	△152,994
営業外収益	
受取利息	22,787
受取配当金	1,753
不動産賃貸料	3,664
その他	1,865
営業外収益合計	30,070
営業外費用	
支払利息	4,290
その他	1,000
営業外費用合計	5,290
経常損失(△)	△128,214
特別損失	
固定資産除却損	2,918
投資有価証券評価損	1,158
特別損失合計	4,077
税金等調整前四半期純利益	△132,291
法人税、住民税及び事業税	6,815
法人税等調整額	△17,614
法人税等合計	△10,798
四半期純損失(△)	△121,492

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,291
減価償却費	40,753
のれん償却額	4,709
役員退職慰労引当金及び未払金の増減額(△は減少)	△22,767
貸倒引当金の増減額(△は減少)	106,579
受取利息及び受取配当金	△24,541
支払利息	4,290
売上債権の増減額(△は増加)	1,853,667
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,911,743
仕入債務の増減額(△は減少)	288,629
退職給付引当金の増減額(△は減少)	748
工事損失引当金の増減額(△は減少)	7,411
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△71,631
その他の流動資産の増減額(△は増加)	97,634
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△49,742
その他	△48,092
小計	143,615
利息及び配当金の受取額	24,558
利息の支払額	△2,969
法人税等の支払額	△81,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△114,209
有形固定資産の売却による収入	305
投資有価証券の取得による支出	△213
貸付けによる支出	△4,300
貸付金の回収による収入	5,625
その他	△4,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△66,670
自己株式の取得による支出	△31
配当金の支払額	△85,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,818
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184,781
現金及び現金同等物の期首残高	2,707,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,522,330

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

項目	大型物件事業 (千円)	戸建住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,360,053	9,390,379	10,750,433	—	10,750,433
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34,276	34,276	(34,276)	—
計	1,360,053	9,424,655	10,784,709	(34,276)	10,750,433
営業利益又は営業損失(△)	△43,650	132,961	89,310	(242,305)	△152,994

(所在地別セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外子会社がないため該当事項はありません。

(海外売上高)

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	10,563,783
II 売上原価	9,328,810
売上総利益	1,234,972
III 販売費及び一般管理費	1,205,560
営業利益	29,412
IV 営業外収益	36,960
V 営業外費用	5,608
経常利益	60,764
VI 特別利益	10,450
VII 特別損失	177
税金等調整前四半期純利益	71,036
税金費用	50,022
四半期純利益	21,014

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	
	金額 (千円)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		71,036
減価償却費		42,177
のれん償却額		4,710
貸倒引当金の減少額	△	10,110
役員退職慰労引当金及び未払金の減少額	△	25,678
工事損失引当金の減少額	△	1,822
退職給付引当金の減少額	△	7,603
受取利息及び受取配当金	△	23,152
支払利息		5,608
売上債権の減少額		3,924,517
更生債権等の減少額		16,216
たな卸資産の増加額	△	3,152,265
仕入債務の増加額		552,211
その他	△	316,168
小計		1,079,678
利息及び配当金の受取額		23,170
利息の支払額	△	10,733
法人税等の支払額	△	245,409
営業活動によるキャッシュ・フロー		846,705
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	29,200
有形固定資産の売却による収入		252
投資有価証券の取得による支出	△	209
貸付けによる支出	△	34,500
貸付金の回収による収入		8,165
その他	△	31,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	86,561
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増加額		191,667
自己株式の取得による支出	△	80
配当金の支払額	△	84,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		107,078
IV 現金及び現金同等物の増加額		867,222
V 現金及び現金同等物の期首残高		1,406,611
VI 現金及び現金同等物の期末残高		2,273,834

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年9月期第1四半期）

項目	大型物件事業 (千円)	戸建住宅事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,117,645	9,446,138	10,563,783	—	10,563,783
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	297	346	(346)	—
計	1,117,694	9,446,435	10,564,129	(346)	10,563,783
営業利益又は営業損失(△)	△ 64,592	282,974	218,382	(188,970)	29,412